

病気になっても仕事を続けられる 職場環境を作りましょう!

近年、がんの治療は進歩し、がんになっても仕事を辞めず、働き続けることができるようになってきました。企業としては、少子高齢化の急速な進展に伴い、今後労働力人口の減少とともに労働者の高齢化が進み、がん等の反復・継続して治療を要する疾病を抱える労働者が増加していくことが見込まれ、経営の観点からも、治療を続けながら働くことができる環境を整備する必要があります。「治療と仕事の両立支援対策」は、メンタルヘルス対策と同様、企業が取り組むべき大きな課題の一つです。

独立行政法人労働者健康安全機構では、治療と仕事の両立支援に関する支援を無料で提供しています。

<提供している主な支援>

- * 事業者に対する啓発セミナー
- * 事業場への個別訪問支援
- * 労働者(患者)と事業場との個別調整支援
- * 管理監督者等向けの両立支援教育
- * 両立支援に関する相談
- * 情報提供

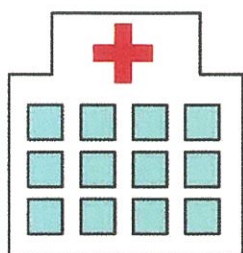
病気になっても、働き続けることを多くの人が希望しています。私たちが両立支援をお手伝いします。



両立支援促進員等

主治医から"職場復帰可"の診断書と就業にあたっての意見書をもらって入社日の相談に会社に行ったところ、すぐ職場復帰支援プランを作成してもらえました。今は時間単位の有給休暇を活用して、治療と仕事を両立させています。

人事担当者と主治医の連絡調整を支援してもらい、安心して治療に専念できます。



労働者(患者)



労働者(患者)

お問合せ先

独立行政法人労働者健康安全機構 **福島産業保健総合支援センター**

〒960-8031 福島市栄町6番6号 NBFユニックスビル10階

TEL(024)526-0526 FAX(024)526-0528

ホームページ <https://www.fukushimas.johas.go.jp>

ご利用時間 (祝日・年末年始を除く)月曜日から金曜日9時~17時

裏面の申込書もご利用ください